

2016 THOMSON REUTERS ANALYST AWARDS*

(日本におけるランキングの評価方法)

*(ランキングは、前年7月より今年6月末までの1年間の成績を基に算出～銘柄選定アワード)

*(但し、業績予想アワードについては、直近会計年度ベース (2016年3月期))

トムソン・ロイターのアナリスト・ランキングは、投資推奨による収益率および収益予想の正確さに基づき、日本株式の銘柄を対象に<銘柄推奨実績>と<収益予想実績>についてアナリストの実績を客観的に評価します。

使用データについて

トムソン・ロイター アナリスト・ランキングは、トムソン・ロイターI/B/E/Sの収益予想データと銘柄推奨データ、およびGICS (Global Industry Classification System) の業種分類を採用しています。

GICSの業種分類が細かすぎるなどの理由により、ランキングが困難な場合は、日本のアナリストのカバレッジ構成と出来る限り一致するよう複数の業種を組み合わせています。例えば本ランキングのヘルスケア業種はGICSのHealth Care Equipment & Supplies、Health Care Providers & Services、Biotechnology および Pharmaceuticals を組み合わせたものです。

I. 銘柄選定アワード

I-①～(銘柄選定・業種別)

<各業種、上位3名のアナリストを表彰。>

アナリストの収益率はすべて、業種毎のベンチマークと相対的に比較して決定されます。ベンチマークとは、当該業種の全銘柄を時価総額で加重平均したポートフォリオです。続いて各アナリストの推奨内容に基づいたポートフォリオを作成します。

このポートフォリオでは、「買い(Buy)」推奨の場合に該当銘柄を1株買うと同時にベンチマークを1株売ることにより、収益率がベンチマークを上回ることによるクレジットが加算されます。「強気買い(Strong Buy)」推奨の場合には投資効果を高めるために2株買い、ベンチマークを2株売る計算を行います。「売り(Sell)」推奨の場合には反対にベンチマークを1株買い、該当銘柄を1株売ります。「強気売り(Strong Sell)」の場合には効果を高めるため、ベンチマークを2株買い該当銘柄を2株売ります。「保留(Hold)」の場合はベンチマークを1株買います(つまり超過収益は"0")。

上記を採用した結果のポートフォリオは、毎月、およびアナリストがフォローする銘柄のカバレッジに変更が生じた場合や、投資推奨が変更された場合に再調整されます。

(受賞対象となるための要件)

- (1) アワードに選出されるには、一年を通じて、5銘柄以上をフォローすること(15銘柄未満の業種の場合は、当該業種構成銘柄の1/3以上)が要件となります。
- (2) アナリストは、当該業種において正の超過収益率を上げる必要があります。
- (3) アナリストが銘柄選定アワードに選ばれるためには、カバレッジ相対評価 (Coverage-Relative Rating) に基づき、全般(カバーした銘柄の全ての業種)において3つ星以上の実績を上げることを要件としています。

I-②～(銘柄選定・総合)

総合優良銘柄アワードに選出されるには、一年を通じて、5銘柄以上をフォローすることが要件となります。アナリストの総合超過収益率は、各業種の超過収益率を加重平均して算出されます。加重の比率は、アナリストが各業種においてフォローする銘柄数に基づきます。

また、銘柄選定アワード(総合)を受賞するには、カバレッジ相対評価で、対象銘柄(対象となる全業種)において5つ星以上の実績を上げることが要件としています。

当社では、銘柄選定(総合)のトップ10アナリストを選出するため、データベースに収録された国内全てのアナリストの総合超過収益率を計算しています。

II. 収益予想アワード

トムソン・ロイターのスターメインが独自に開発した測定基準である Single-stock Estimate Score (SES)は、各アナリストの収益予想の正確度を測定することができます。SESは相対的な正確度を測定するため、アナリストは他のアナリスト集団と比較されます。SES値は、0から100までの範囲で、50が平均的なアナリストとなります。50以上のスコアを取得するには、他のアナリストとは著しく異なる予想と、より正確な予想の両方を満たす必要があります。

SESは、多くの要素を考慮の対象とします。例として、アナリストの絶対的な予想の誤り、他のアナリストと比較した場合の当該アナリストの予想の誤り、分散状況から見た当該アナリストの予想の誤り、アナリストが行った予想のタイミング、個別企業が発表した実績収益値との比較が挙げられます。**SESは毎日計算され、各銘柄、業種(業種別予想スコア)、アナリスト全般(総合予想スコア)のスコアが集計されます。(→このスコア/点数がランキングのベースとなります。)**

II-①～(収益予想・業種別)

<各業種、上位3名のアナリストを表彰。>

本アワードに選出されるには、前年(年間)を通じて、5銘柄以上をカバーすること(15銘柄未満の業種の場合は、当該業種構成銘柄の1/3以上)が要件となります。

業種別に収益予想スコアに基づき、対象アナリストをランク付けています。

II-②～(収益予想・総合)

本アワードのトップ10リストに選出されるには、前年(暦年)の間に5銘柄以上収益予想を提示したことが要件となります。対象アナリストは予想スコアに基づいてランク付けし、高得点トップ10名を選出しています。

III. 証券会社アワード

証券会社アワードは、銘柄選定部門および収益予想部門で表彰されたアナリストの合計人数が多い上位3証券会社に付与されます。

(2016年9月)